

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		農業委員会運営事務		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060101-01 補助	根拠法令・条例等	農業委員会等に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 農地法に基づく申請に対して、定例（毎月）開催する農業委員会総会において審議を行う。 農地利用最適化推進委員を中心に、農地の利用状況調査を行い、今後の利用について意向確認するとともに、農地の貸借等の調整を図ることで、農地の集約を促進する。
農業委員会は、農業委員会等に関する法律に市町村への設置が規定されている行政委員会であり、守谷市においては昭和31年に設置された。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農地法に基づき、農地の権利移動や転用等の申請について審議し、農地を農地以外とすることの規制や農地の利用関係を調整することにより、農地の確保と利用促進を図る。また、農地所有者への指導等を行い、遊休農地の防止、減少を図るとともに、農地利用の最適化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
農業委員会は、農地を保全し農地の利用促進を図ることが主な業務である。また、農地を農地以外にすることを規制し農地の利用調整等を行っているが、農業者の高齢化や担い手不足により、遊休化農地が発生していることが問題となっている。遊休化農地の防止・減少を図るとともに、農地利用の最適化を推進する必要がある。	農地法に基づく各種申請に対しては、会長、当番委員（農業委員3名及び農地利用最適化推進委員1名）が、毎月小委員会（23日）で現地を確認し、総会（28日）で農業委員全員による審議を行う。 農地利用の最適化推進については、農地利用最適化推進委員を中心に年に1回（8月頃）、市内全農地の利用状況を調査し、11月に遊休化農地（新規発生）の所有者に対して農地の利用意向の確認（利用意向調査）を行い、農地中間管理機構への貸付を希望しない所有者に対しては指導を行う。また、利用権設定をしていない農家台帳上の自作地についても、計画的に戸別訪問等により実態を調査し、担い手への集積を図る。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
農地法に基づき、農地の権利移動や転用等の申請について、総会で審議し、適正な事務処理を行う。また、農地利用の最適化を図るため、農地利用最適化推進委員を中心に、農地利用状況調査を実施し、遊休化農地所有者に対して利用意向の確認・指導等を行う。また、農家台帳上の自作地についても実態を調査する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	農業委員会の業務は、農地法に基づく法定事務であるため。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
農地法等に基づき、適正に事務処理を行うとともに、許認可等の審査をした。 農業委員及び農地利用最適化推進委員により、農地所有者へ戸別訪問をし、担い手への農地集積に向けた利用意向調査を行った。	農地法等に基づき、適正に事務処理を行うとともに、許認可等の審査をした。 利用意向調査の結果をもとに、農業委員及び農地利用最適化推進委員により、人・農地プランの実質化に向けた意見を出し、担い手への農地の集積を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
農地法等に基づく審査件数（件）	249.00	178.00	236.00	142.00	207.00	211.00	200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	農地法等に基づく審査は法定事務であり、申請に基づき実施している。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	今後も農地法等に基づく許認可等の審査を適正に行い農地保全に努める。						

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	13,304	13,337	12,674	14,636	14,636
	国・県支出金	337	882	498	756	756
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	12,967	12,455	12,176	13,880	13,880
正職員人工数（時間数）		3,189.00	2,931.00	2,272.00	0.00	0.00
正職員人件費		13,314	12,026	9,197	0	0
トータルコスト		26,618	25,363	21,871	14,636	14,636

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		排水機場維持管理負担金	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成 6年度～
	施策	農業の支援	種別	任意の事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード		01-060105-03 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 管理者である各土地改良区に対し、排水機場運転に係る経費の一部を負担する。
各土地改良区の排水路等に流入する既成市街地からの雨水等による湛水被害を防除するため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内の土地改良区が排水機場の維持管理及び修繕を行い、機器を良好に保つための経費の一部を負担し、農地及び周辺市街地への湛水被害の防止を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
各排水機場は、施設設置後数十年が経過し、施設長寿命化事業等により更新や補修等を実施している。しかし、近年の異常気象による台風等の豪雨時に適切に稼働する必要があるため、施設の日常点検や定期点検等を確実に実施するとともに、適切な運転が重要である。	【通年】・各機場内の機器点検 ・点検結果の把握 ・点検結果による修繕等の計画 ・各土地改良区との協議 ※各改良区に維持管理負担金を支出していることから、上記作業は改良区で実施する。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
定期点検等により各排水機場内の機器等が正常に稼働することを確認し、必要に応じ修繕を行うなど、適正な常態で保てるよう施設管理をするとともに、台風等の排水機場の運転について土地改良区と協議する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度を取組（評価、課題への対応）
排水機場の機能を安定させ、農地や農業施設の湛水被害を解消するばかりでなく、受益地内の公共施設等の湛水被害も軽減することができるため、現状の維持が必要とされる。	施設の維持管理を行う土地改良区に対し、負担割合に基づき負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
不具合発生件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	各土地改良区において排水機場の適正な維持管理を行っており、ここ数年は不具合の発生はなかったが、令和2年度末に守谷土地改良区管内の下塚排水機場において、3基あるポンプの内、1基の故障が判明したため、令和3年度に県単土地改良事業で修繕工事を行う予定である。 当該、修繕工事費に対して、負担割合に基づき負担する予定である。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	各排水機場の適正な排水処理を維持し、湛水被害を軽減するため、継続してその費用の一部を負担する。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	4,651	5,996	6,636	13,037	6,637
	国・県支出金	85	85	85	85	85
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,566	5,911	6,551	12,952	6,552
正職員人工数（時間数）		254.00	112.00	64.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,060	460	259	0	0
トータルコスト		5,711	6,456	6,895	13,037	6,637

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		県営経営体育成基盤整備事業負担金		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060105-06 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷土地改良区の圃場の施設が老朽化し、改修、整備が必要となった平成22年度から工事を実施している。	茨城県が経営体育成基盤整備事業として実施しており、事業費の一部を市が負担している。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
排水機場及び用排水路の改修による維持管理費の節減や、農道整備による営農の効率化を目的に実施される県営経営体育成基盤整備事業に対し、事業費の一部を負担し、農業生産の向上や担い手への農地集積を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
茨城県が計画に基づき守谷地区基盤整備事業を実施しているが、工事に係る用地買収において、地元調整に不測の日数を要したため、工期が1年延長することとなった。	【守谷土地改良区】 ・排水路工事 ・農道工事（用地測量、用地買収）
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
早期完了を目指し、引き続き用地測量、用地買収に取り組む。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度 of 取組（評価、課題への対応）
計画された事業を負担協定に基づき負担しているものであり、成果を得るため工事完了まで現状を維持する必要がある。	事業計画の待避場設置工事において、用地買収における地元調整に時間を要したことから、令和2年度に工事が延長されたが、予定どおり完成した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
整備率（％）	61.70	72.00	84.00	85.00	89.00	100.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	整備率が100％となった。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☒ 廃止・終了	工事が完了したことにより、令和2年度で事業終了。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	6,495	4,910	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,495	4,910	0	0	0
正職員人工数（時間数）		21.00	57.00	103.00	0.00	0.00
正職員人件費		88	234	417	0	0
トータルコスト		6,583	5,144	417	0	0

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		日本型直接支払制度事業		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060105-07 補助	根拠法令・条例等	多面的機能支払交付金実施要綱 環境保全型農業直接支払交付金実施要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 農業・農村を支える活動組織が行う各種作業等に対して国・県・市が交付金を給付することにより、活動を支援する。
平成19年度から、国により農地・水保全管理支払交付金制度が始まり、市内の活動組織が発足した。平成26年度から制度の拡充等により、日本型直接支払制度となった。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域内の農業者が共同で取り組む地域活動や営農活動を支援することにより、農地、水路、農道などの地域資源の適切な保全管理を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、市内の農用地全域で4つの組織が継続して活動を実施しているが、今後、高齢化の進行に伴う活動の継続が困難な状況等が生じる可能性がある。	【活動期間】 とりもつ会（守谷地区）H31.4～R6.3 ※H31.4再認定 高野環境保全活動組織（高野地区）H30.4～R5.3 大野地区田園環境保全活動組織（大野地区）H29.4～R4.3 菅生遊水みどりの会（菅生沼地区）H31.4～R6.3 ※H31.4再認定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
農業者以外の多様な主体の参画等を進め、将来にわたり地域資源が持続的に保全管理されることが可能となるような体制づくりが必要である。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
地域資源の適切な保全管理を図るために、組織が継続して活動できるよう補助する。	多面的機能支払交付金については、活動を実施した4団体に、環境保全型農業直接支払交付金については、1団体に交付した。 多面的機能支払交付金を活用している4団体のうち2団体については、長寿命化事業の活動を行うことができ、地域資源の適切な保全管理が行われた。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
環境保全対象面積（ha）	431.38	431.38	384.27	435.58	435.58	435.45	436.13
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	協定農用地の保全管理が行われており、良好な維持管理が図られている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	地域資源の適切な保全管理を図るため、継続して補助を行う。						

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	24,270	28,631	26,864	30,678	30,678
	国・県支出金	18,202	21,472	20,148	23,008	23,008
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,068	7,159	6,716	7,670	7,670
正職員人工数（時間数）		472.00	464.00	578.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,971	1,904	2,340	0	0
トータルコスト		26,241	30,535	29,204	30,678	30,678

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		農業水利施設長寿命化事業		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060105-10 補助	根拠法令・条例等	土地改良法 地方財政法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市の施設である大野第2排水機場が老朽化し、機能を維持するための改修が必要となり、平成25年度から工事を実施している。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
大野第2排水機場を改修するとともに、機能を維持するために県が実施する農業水利施設長寿命化事業の費用を一部負担し、湛水被害の防止を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
茨城県が計画に基づき大野第2排水機場の改修工事を実施しており，課題はない。	【工事内容】 管理橋更新，建屋附帯工事
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の実績（評価、課題への対応）
事業を実施する県に対し、負担割合に基づき経費の一部を負担した。	令和元年度に事業終了。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
改修率（％）	15.00	47.00	51.00	80.00	100.00	100.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下							
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☒ 廃止・終了	令和元年度において、工事が終了し負担割合に基づく軽費の負担も終了。						

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	23,550	2,000	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	23,550	2,000	0	0	0
正職員人工数（時間数）		180.00	15.00	3.00	0.00	0.00
正職員人件費		752	62	12	0	0
トータルコスト		24,302	2,062	12	0	0

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		土地改良施設維持管理適正化事業負担金		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060105-11 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備し，水利利用の安定と合理化を図るため。	土地改良区が土地改良施設維持管理適正化事業により実施する施設の改修に対し，地元拠出金を5年分割で負担する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
土地改良事業団体連合会の補助を受け，土地改良区が行う用排水施設の改修工事の費用を一部負担し，用水不足や排水障害の防止を図り，効率的で安全な農業を行うことを目的とする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
土地改良区が用排水施設の改修工事を計画的に実施していることから，課題はない。	・高野土地改良区 第2号，第3号深井戸機場改修工事 事業期間：平成27年度～令和元年度 ・高野土地改良区 第1号，第4号深井戸機場改修工事 事業期間：平成29年度～令和3年度
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の実績（評価、課題への対応）
用水不足や排水障害の防止を図る改修工事に対する経費の負担であり、事業完了までは現状維持が必要とされる。	高野土地改良区内での深井戸機場改修工事を実施する土地改良区に対し、経費の一部を負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
改善着手率（％）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	計画どおり改修工事に着手していることにより、施設が良好に維持されている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☒ 統合 ☒ 廃止・終了	負担年度終了まで、継続して負担割合に基づき経費の一部を負担する。 令和3年度から新たに守谷土地改良区内において、下高井排水機場及び排水樋管の補修工事が採択された。 負担金については、令和2年度から土地改良事業各種負担金に統合している。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	3,276	2,400	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,276	2,400	0	0	0
正職員人工数（時間数）		38.00	28.00	10.00	0.00	0.00
正職員人件費		159	115	40	0	0
トータルコスト		3,435	2,515	40	0	0

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		県単かんがい排水事業負担金		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060105-12 単独	根拠法令・条例等	守谷市土地改良事業等補助金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 茨城県がかんがい排水事業として補助を行う事業に対し、市が地元負担分の一部又は全部を負担する。
水利用の安定と合理化を図るため、農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備する。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
茨城県の補助を受け、土地改良区が行う用排水施設の改修工事の費用を一部負担し、用水不足や排水障害の防止を図り、効率的で安全な農業を行うことを目的とする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
土地改良区が用排水施設の改修工事を計画的に実施していることから，課題はない。	菅生沼土地改良区内（菅生沼南部板戸井地区） ・板戸井第2用水機場ポンプ設備補修工事
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の実績（評価、課題への対応）
既存設備の改修工事に対する負担事業であることから、現状維持が必要とされる。	既存設備の改修工事に対して経費の一部を負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
全体整備率（％）	31.00	0.00	33.00	34.00	35.00	36.00	36.00
市内整備率（％）	31.00	0.00	33.00	34.00	35.00	36.00	36.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	工事進捗により、整備率が向上した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☒ 統合 ☒ 廃止・終了	用水不足や排水障害の防止を図る改修工事に対する経費の一部を負担することから現状維持とする。 なお、負担金は令和2年度から、土地改良事業各種負担金に統合している。 また、令和3年度は改修工事が予定されていない。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	2,354	4,587	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,354	4,587	0	0	0
正職員人工数（時間数）		47.00	61.00	20.00	0.00	0.00
正職員人件費		196	250	81	0	0
トータルコスト		2,550	4,837	81	0	0

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		土地改良事業各種負担金	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	年度～
	施策	農業の支援	種別	法定事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード		01-060105-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市土地改良事業等補助金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 土地改良区が行う土地改良事業に対し，市が地元負担分の一部又は全部を負担する。
農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備し，水利用の安定と合理化を図るため。 なお，当該事業については，令和2年度より既事務事業の土地改良施設維持管理適正化事業負担金，県単かんがい排水事業負担金を統合し，土地改良事業各種負担金としたものである。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
土地改良区が行う用排水設備等の改修工事の費用を一部負担して，用水不足や排水障害等の防止を図り，効率的で安全な農業を行うことを目的とする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度を取組（評価、課題への対応）
用水不足や排水障害の防止を図る改修工事に対する経費の負担であり、事業完了までは現状維持が必要とされる。	高野土地改良区内の土地改良施設維持適正化事業、菅生沼土地改良区内の県単かんがい排水事業に対し、経費の一部を負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
改善着手率（％）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	計画どおりに改修工事に着手していることにより、施設が良好に維持されている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	土地改良区が行う土地改良事業に対し、継続して負担割合に基づき経費の一部を負担する。						

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	0	0	4,017	5,592	5,592
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	4,017	5,592	5,592
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	4,017	5,592	5,592

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		農村地域防災減災事業	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	令和 2年度～令和 2年度
	施策	農業の支援	種別	任意の事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード		01-060105-08 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 農業水利施設の耐震診断を行う。
近年の我が国では、集中豪雨や地震等の災害により、農業水利施設が被災し、農用地や地域住民の生命・財産への被害が拡大しているため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農業水利施設の地震による破損の可能性を検証し、被害を未然に防ぐ。	
（参考）基本事業の目指す姿	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の実績（評価、課題への対応）
	大野第2排水機場の耐震診断を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下							
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☒ 廃止・終了							

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	0	0	8,954	0	0
	国・県支出金	0	0	8,954	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	64.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	259	0	0
トータルコスト		0	0	9,213	0	0